

人権擁護委員を 紹介します

1月1日付けで、法務大臣から委嘱され、人権擁護委員として井石昭男さん（緑ヶ丘）が再任されました。引き続き、人権相談や人権啓発活動などを行います。

いじめ、体罰、差別、家庭内・近隣のトラブルなど、皆さんが毎日生活する中で困っていることがあれば、近くの人権擁護委員に気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

	地区	氏名
南	緑ヶ丘	井石昭男
	平野台	中村恵子
中央	下大利	前川由美子
	下大利団地	吉本光男
東	大城	石丸礼子
	大城	高橋光治
北	筒井	本多桂子
	仲畑	城戸正信

●問い合わせ先

◇福岡法務局筑紫支局総務課

☎(922)2881

◇人権男女共同参画課

☎(580)1840

あけてみよう！ 歴史のとびら

149

調査担当者が語る！大野城発掘物語

②〈未来へのタイムカプセル〉

〈古野遺跡経塚・経筒の発掘調査〉

大野城市東部にある乙金宝満神社の裏には、かつて小高い丘がありました。丘の上からは、大野城市の街並みや遠く福岡タワーまで見渡せる場所です。ここは古野遺跡と呼ばれ、5・6世紀の古墳群が見つかっており、平成23・24年度に発掘調査を行いました。眺めが良い場所だったので、調査開始当初は、同僚たちと「経塚（きょうづか）お経を埋めた遺跡（遺跡）が見つかるかもしれない」と、冗談半分で話をしていました。

調査が進んだある日の午後、古墳の裾の部分に炭混じりの黒い土があることに気がつきました。よく観察すると地面に小さな空洞があったため、中をのぞいて見たところ、ギリギリと青く光る宝珠の形をした物体が目に見え、目を飛び込んできたのです。なんと「経筒（きょうづつ）お経を入れる容器」の蓋のつまみではありませぬか。思わず「出たー！」と絶叫したものです。興奮冷めやらぬまま大急ぎで、なおかつ慎重に周りの土を

掘り進めていきました。その日は自宅から登山用テントを持ち込み、経塚の横で「寝ずの番」をすることにしました。あの時、遺跡から見た大野城市の夜景や遠くに聞こえる街のざわめきの心地よさは今でも忘れられません。

翌朝、日の出とともに発掘を再開したところ、幸運なことに未盗掘の経塚であることが判明し、無事に経筒を掘り出すことに成功しました。持ち帰って検討した結果、12世紀（平安時代の終わり頃）に作られた青銅製の経筒で、中に経典が残っていることがわかったのです。

経筒は、はるか昔の人が未来に願いを託した「タイムカプセル」です。今を生きる私たちは、未来に何を伝え、何を残していけるのでしょうか。

●問い合わせ先

ふるさと文化財課啓

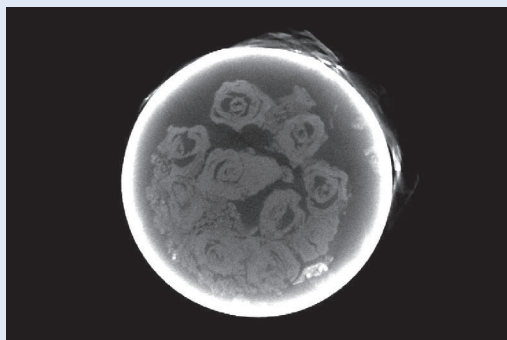
発・整備担当（心の

ふるさと館内）

☎(558)2206



経筒
(高さ約25cm)



経筒内部に残る経典



調査風景